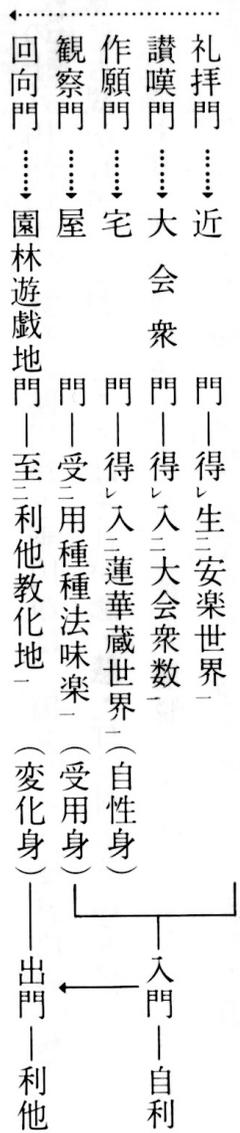


浄土は如来によつて完成せられた浄土であるとともに、そこに願生する者にとつては、正しくそれによつて転依の究竟せられてゆくことにより、無分別智と清浄世間智が証得せられる境地としてあることは、十八円浄と果円浄の上にも見られるところである。ただ『浄土論』では、それが二十九種莊嚴の上では説かれずに、むしろその意味は五念門の実践によつて得られる五功德門の内容として顕されているとみるべきであろう。



この五功德門の中、

宅門は十八円浄の依止円浄が『浄土論』では仏莊嚴の座功德に、

屋門は十八円浄の持円浄が『浄土論』では国土莊嚴の受用功德等に、

園林遊戯地門は十八円浄の業円浄が、『浄土論』では菩薩四種功德等に

それぞれ対応するとみることができる。

すなわち、それは、二十九種莊嚴として表わされた阿弥陀の浄土の徳が、五念門の行によつてそこに願生してゆく者の上に、往生人・得生者の徳として成就せられることを明らかにしたものである。

その五念門の行は、転識得智の為の随法行であり、従つてそれによつて得られる五功德門は、まさしく転依の究竟態を表わすことはいふまでもない。そのことは、この五功德門の内容と極めて密接に関連しあうと思われるものが『唯識三十頌』の第十一唯識位の通立位の箇所、次のように説かれていることによつても充分考えられることであろう。

「菩薩得此二見道時 生如来家 住極喜地 善達法界 得諸平等 常生諸仏大会中
於多百門 已得自在 自知不証大菩提 能尽未来利樂一切」

(菩薩は此の二見道を得る時、如来の家に生ず。極喜地に住し、善く法界に達す。諸々の平等を得て、常に諸仏の大会衆の中に生じ、多百門に於いて已に自在を得る。自ずから久しからずして大菩提を証し、能く未来を尽くし一切の利樂を知る。)

ここに「二見道」というのは真見道と相見道である。前者は唯識の性を知ることであり、根本智の摂とされる。おそらくここに如来の家⇨初歡喜地に至る者に与えられる徳用として示されたごときものが、修習位を経て、更に究竟位に至って成就せられてゆくことを表わしていると領解して誤りではないであろう。そして、五功德門を「家屋」として表わす象徴的表現は、おそらく『華嚴経』『十地経』『十住論』等に説かれた「如来の家」という概念と決して無関係ではないであろう。

もともと大乘において、菩薩とは如来の家に生まれ、如来の家系を継ぐ者をいう。それが善男子、善女人とも呼ばれた意味であった。『浄土論』もまた、その善男子、善女子が如来の家に生れ、如来の家系を継ぐ者となる道を説き示すものである。その「如来の家系を継ぐ」ということは、第五功德門に表わされたように、利他教化地に至り、本願力回向の故に、生死の園・煩惱の林の中にあつて神通遊戯し、衆生を教化し、度脱するという、不住涅槃の行を行ずることの他にはない。

『大乘莊嚴経論』行住品に十波羅蜜を得た菩薩の十六相を説くに当たつて、「十六戲通、此顕智波羅蜜相 遊戯諸大神通功德故」と示されているのも、それを表わすものである。

その不住涅槃の行を行ずる菩薩の特質を、仏教では柔軟心を成就せる者と表わし、その行を巧方便回向という。『浄土論』ではそれが浄土の観察によつて善男子善女子に得られるものであることを強調している。そこに『浄土論』の最も主要な課題が置かれていることは、先に示した科文によつても知られるであろう。それは曇鸞によつて詳細に説明せられたところである。

（『曇鸞教学の研究』 幡谷 明）

【補註】

「転識得智」とは、仏教の唯識思想における重要な概念で、迷いの「識」が悟りの「智慧」へと転換する過程を指す。修行の結果、心にある八つの識（「識」の働き）が仏の持つ四つの智慧（「智」）に変わることを意味し、これにより人間は煩惱に囚われた状態から解脱し、真理を体得することができる。

▽転識得智の具体的な内容

仏教の教えでは八つの識がそれぞれ以下の四つの智慧に転じると考えられている

成所作智・五識（眼識耳識鼻識舌識身識）が転じて、あらゆるものがあるがまみに見る智慧。
妙觀察智・意識が転じて、対象の本質を深く観察し、理解する智慧。
平等性智・末那識が転じて、すべてを平等に見る智慧。
大円鏡智・阿頼耶識が転じて、一切の事象をありのままに映し出す、大円鏡のような智慧。

▽「転識得智」の意味と目的

・悟りの境地への到達

修行を通じて、迷いを生み出す「有漏の識」を、真理を体得する「無漏の智」へと転換させ、悟りを開き仏となることを目指します。

・人生における智慧の獲得

単に知識を蓄えるだけでなく、その知識を人生の様々な場面で活かし、何をすべきかを判断して実行する「生きる力」へと転換させることも、転識得智の一側面として解釈されます。

・慈悲の体現

智慧を得ることで、慈悲の心も同時に身につくとされます。